

## 第 1 回実践観光学習・見学会レポート 鎌倉見学

---

東京都公立大学法人では、著名な講師の方々から観光についての大局観や専門知識を学ぶ「観光戦略研究会」と併せて、実際の現場を訪ねて見学することを目的とした「実践観光学習・見学会」を不定期で実施しています。

最終年度となる今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、観光産業がこれまでに経験したことがない甚大な打撃を受け、依然として厳しい状況にあります。こうした状況下で、観光産業の活路として注目されているマイクロツーリズムやテクノロジーの活用の可能性を探る見学会を3回にわたり実施致します。

マイクロツーリズムは、第3回観光戦略研究会の講師としてお迎えする星野リゾート星野佳路代表が早くから提唱され、感染拡大防止と地域経済を両立させる観光として注目されています。With コロナ期における観光のあり方としては、「観光が感染拡大に貢献しないこと」であり、移動しても感染リスクが低いエリア内を地元住民や近隣住民に楽しんでもらう動きが各地で始まっています。

2020年10月29日（木）、鎌倉の歴史と文化を訪ねて、報国寺、一条恵観山荘、建長寺、鶴岡八幡宮を訪問しました。鎌倉は東京から1時間の近距離にありますが、日本の歴史遺産の宝庫で、マイクロツーリズムのモデルのような場所です。

## 報国寺

---

1334年（建武元年）、天岸慧広（仏乗禅師）が開山した臨済宗建長寺派の寺院で、仏乗禅師はこの地に「休耕庵」を建てて修行し、余暇には詩作にふけるなど、静かな生涯を過ごしたとされています。

この寺の開基は足利家時（足利尊氏の祖父）ですが、室町時代に勢力を持った宅間上杉氏の祖・上杉重兼も寺の創建に関わっているといわれ、関東における足利公方終焉の地でもあります。古くから1,000本と言われる孟宗竹林が有名で「竹の寺」とも呼ばれています。

薬医門を抜けるとなだらかな参道へと続きます。参道の右手には、茅葺屋根の鐘楼、その奥に本堂が佇んでいます。竹庭には、中国から伝わった太さと高さのある孟宗竹が生い茂り、その背後には、足利家時、足利義久の墓であるやぐらがひっそりと佇んでいます。竹林の中には「休耕庵」があり、木漏れ日が差し込む竹庭を眺めてお抹茶をいただけます。



薬医門



1,000本と言われる孟宗竹林

## 一条恵観山荘

---

後陽成天皇の第九皇子であり、摂政・関白を二度務めた一条恵観（兼遐・昭良）によって営まれ、およそ 370 年前、時代は江戸時代初期、正保三年（1646 年）にこの山荘で茶会が催されたという記録が残っています。元は京都・西賀茂に建つ、緑の濃淡が幾重にも連なる里山に建つ一条家別邸の離れであり、昭和 34 年、鎌倉の地に移築されました。庭石や枯山水も建物と共に移され、当時のままに配置されています。昭和 39 年には国の重要文化財に指定され、平成 29 年に入り、庭園が一般公開されるようになりました。



一条恵観山荘の庭園

## 建長寺

---

建長寺は、山号を巨福山と称し、寺号は正式には建興国禅寺といい、鎌倉五山の第一位、臨済宗建長寺の大本山です。建長5年（1253年）に鎌倉幕府五代執権北条時頼が建立し、我が国最初の禅宗専門寺院にあたります。

建長寺を開山した蘭溪道隆は、中国宋時代の純粹で厳しい禅をそのまま導入し、建長寺を天下の禅林として多くの僧を集め、中国文化の受容、勉学の間として、一時は1,000人を超える修行僧を指導したといえます。

入り口である総門を抜けると、三門や仏殿、法堂や唐門などの国の重要文化財、国宝である梵鐘など、数々の重要文化財や国宝が祀られており、庭園は名勝史跡に認定されています。



建長寺・三門



名勝史跡に認定されている庭園

## 鶴岡八幡宮

---

鶴岡八幡宮の起源は、鎌倉幕府を築いた源頼朝公の祖先源頼義が、京都の石清水八幡宮を勧請したことにはじまります。頼義は石清水八幡宮を篤く信仰しており、源氏の氏神として八幡神を鎌倉の由比ヶ浜辺に祀りました。

源頼朝公が治承4年（1180年）、初の武家政権である鎌倉幕府の拠点を鎌倉の地に構えると、先祖ゆかりの八幡宮を現在の場所に遷し祀り、幕府、鎌倉、ひいては東国社会の守護神として篤い崇敬の誠を寄せました。

幕府の重要祭事として、放生会や流鏝馬、相撲、舞楽など今日に継承される祭事を境内で執り行い、鶴岡八幡宮は東国社会の精神的・社会的中心でした。

鶴岡八幡宮は、大臣山の中腹に位置する本宮（上宮）と大石段の下に位置する若宮（下宮）があり、上下両宮の形態をとっています。建久2年（1191年）、火災により社殿が焼失し、それを機に現在の姿に整えられました。境内は国の史跡に指定されており、数々の重要文化財や国宝が祀られています。



鶴岡八幡宮・本宮桜門

今回の見学会は、半日の滞在と僅かな時間でしたが、地元ガイドさんに案内していただき、鎌倉の魅力を再発見することができました。マイクロツーリズムは、地域住民や近隣住民に改めて地域の魅力や特性を発見してもらい、愛着を持ってもらうことで、新たな顧客の開拓、そしてリピート客の獲得が期待されています。

観光戦略プロジェクトでは、各地のマイクロツーリズムの取り組み事例をリサーチした上で、皆さまに発信することを計画していますので、どうぞご期待ください。